



平成31年度 第2号

平成31年4月26日



印西市立西の原小学校

印西市西の原2丁目7 <http://inzai.ed.jp/nishinohara-e/>

学校教育目標

強い体 豊かな心 生きる知恵を学びとる、
活気に満ちた子どもの育成

石段を 帰る石竜子や 星一つ 松岡充 (ミュージシャン)

この句は2018年5月24日にTBS『プレバト』俳句コーナーで放送されたものです。石竜子はトカゲと読み夏の季語です。西の原小ではあちらこちらにトカゲが顔を出し、子どもたちを驚かせたり喜ばせたりしています。現代では泥や虫の触れない子も多いようですが、西の原っ子の中にはトカゲやカナヘビ、ダンゴムシなどを勇んで捕まえる子、「家にいた!」と大きな飼育箱の中にトカゲを入れて学校へもってくる子などもいて、自然との触れ合いを楽しんでいる様子に頼もしさを感じています。

眩しい新緑と生命の躍動を感じる5月。生活科や理科での学習を通しながら、四季折々の季節の特徴が醸し出す美しさを感じ取り、自然を愛する心も育てていきたいと思っています。

お忙しい中、個別面談へのご協力をいただきましてありがとうございます。児童の様子や学校の取組を保護者の方にお伝えする方法は、連絡帳・お便り・電話などがありますが、一番は顔を合わせて直接お話することだと思います。個人面談は時間が限られていてなかなか十分な話し合いは難しかったと思いますが、これを機会にこれから担任とよりよい関係を作って頂きたいと思います。1年間どうぞよろしく願いいたします。

思い通りにならない壁は成長のためのもの

さて、新学期が始まって1か月。子どもたちは新しい環境に慣れてきた頃ですが、学校へは楽しく通っているでしょうか。勉強や遊び、友達関係のことなどで悩んでいること、困っていることはないでしょうか。学校は集団生活の場ですから自分の思い通りにならないことが多くあります。そんな時、どのように自分の納得する方向へ心をもっていくか、心のもっていき方を学ぶことが大切な学習になります。そのためには様々な体験をし、その中でたくさんの人と出会い交流することが大切であると考えています。

子どもたちは、遊びの中で譲り合いを学び、学習の中で努力したことが成果となって現れる喜びを実感していきます。そうして、思い通りにならないことを乗り越えながら頑張る力や我慢する力、人への思いやりなどを身に付けていきます。そう考えると、思い通りにならない壁は、子どもたちの成長のために必要なステップであると思います。



この思い通りにならない壁の乗り越え方は、学校では教職員、ご家庭では家族の方が教えなければならないことです。勉強が思うように進まなかったり、友達との関係作りがうまくいかなかったりするかもしれません。やりたくないことをやらなければならないことにイライラするかもしれません。そんな時、正しい方向を示したり、別の角度から考えるようアドバイスをしていくことが大人の大切な役目であると思います。間違っていることには正しいことを、悩み傷ついている時は心を受け止め違う考え方ができるように助言していきたいと、教職員一同指導に当たっています。学校もご家庭も目指すべきところは子どもの成長と幸せです。ご心配事がありましたら、解決に向けて私達教職員とともに考えていきましょう。どうぞご遠慮なくご相談ください。